

NO. 140 平成 22 年 11 月 1 日発行

発行元：(財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

カシワ(柏)

ブナ科 コナラ属

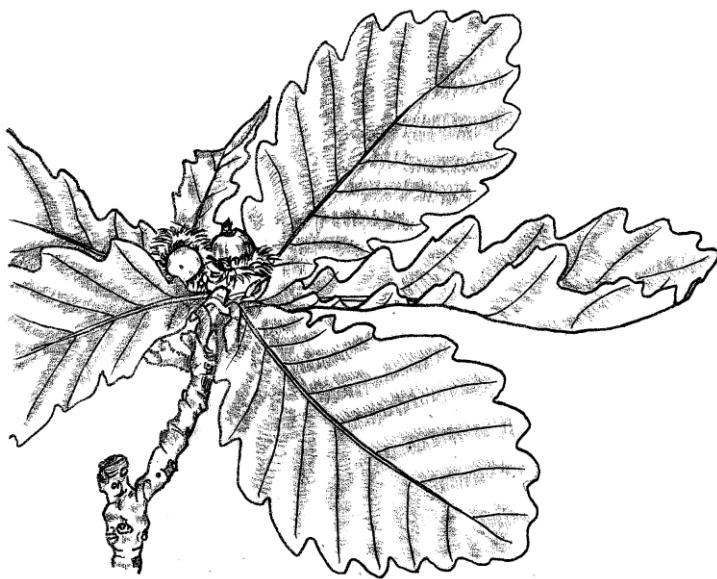
Quercus dentata

カシワはブナ科コナラ属の落葉広葉樹で、日本では北海道、本州、四国、九州と南千島、朝鮮半島や中国に分布します。

高さ 15~20m、直径 60~100cm ほどになり、葉は倒卵形で縁に沿い波状の大きい鋸歯があり、葉の長さは 15~30 cm と大きく、種子は総苞(殻斗)に下部が包まれた球形~円柱形の堅果で、一般的にドングリと呼ばれています。

コナラ属は英名でオークと呼ばれ、北半球の温帯から熱帯に広く分布し、約 300 種以上が知られ、森林の重要な構成種のひとつといえます。北海道のコナラ属はカシワの他、ミズナラ、コナラなどが知られ、それらと交雑した樹種もあるようです。

幹周 4m 以上もある道内のカシワの巨木に幕別町、池田町、様似町の樹が知られています。



カシワの名前の由来は、

- ① 古来、炊事のこと、炊事の用具のことをカシグ(炊ぐ)と言い、それがカシワになったという説。
- ② 蒸し料理の時、蒸気抜きとして下敷きに使用され、炊事すなわちカシグ+葉のついた枝だからという説。
- ③ 古来カシワの葉は「けしきは(食敷き葉)」と呼ばれ、それが訛って「カシワ」になったという説。いくつかあるようですが、いずれにしろ、料理との関わりから「カシワ」になったようです。

「柏」の字は中国では常緑針葉樹のことを指しますが、古代の日本では間違って「柏」になったようです。日本ではカシワは冬期に葉が落ちない事から神に守られた樹として、人々を守る樹、繁栄の象徴としてあがめられていました。中国でも常緑針葉樹の樹「柏」が、やはり神聖な樹とされ、あがめる樹として、中国にならい古代の日本で「柏」が使われ始めたようです。

漢字(中国)ではカシワは「槲」と表記します。

材質は堅くて重く、狂いが生じやすいため江戸時代までは木炭以外の利用はほとんど無く、明治に入つてから活用の幅が広がりました。皮なめしのタンニンの原料として樹皮がかなり採取され、兵隊さんの皮装備品に貢献。北海道開拓時代には鉄道が敷かれる時の枕木としてかなり使われていました。昭和 41 年に北海道の木としてエゾマツが制定されましたが、当時の新聞の読者の声欄に「開拓時に枕木として人目の着かないところで 1 番北海道開拓に貢献したのは“柏”なので推薦したい」趣旨の投稿が載るほど活用されました。他に、昭和のはじめ頃まで火持ちが良いことから薪炭としての利用、建築材、家具材、ウイスキーの樽材などに使われています。

カシワは、葉を使って柏餅にして食べたり、子供の頃のドングリの独楽遊び、童謡のどんぐりころころなどでかなり親しみはあると思いますが、大人になると自然に忘れられてしまう樹である気がします。

＜参考資料＞長岡美佐 “「柏(ハク)」と「カシハ」にみる中日文化”、生原喜久雄 “シリーズ自然を読む「カシワ」”

＜参考文献＞園芸植物大事典(小学館)、北海道樹木図鑑(亜璃西社)

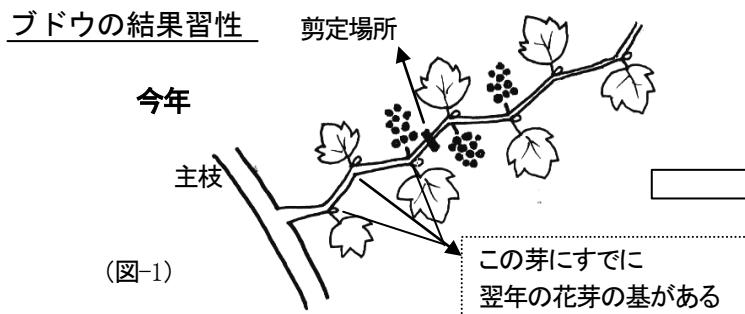
11月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽に問い合わせください。

◆ブドウの剪定

《ブドウの結果習性》

ブドウは、今年伸びて実の付いたつるの、実と対生する葉の付け根の芽に、7月下旬～8月上旬にすでに来年の花芽を分化しています(図-1)。その芽が翌年、発芽して、伸びた枝の3～5枚目の葉の基部に実がつきます(図-2)。このことをよく理解してから剪定にかかりましょう。



《剪定方法》

剪定の時期は、落葉後、枝が茶褐色になる11月中旬から根雪前に終わらせます。

剪定は、まず、翌年実をならせるつるを出す枝(結果母枝、タネヅル)を選び、それ以外は切り落とします。結果母枝は、主枝、側枝に近く節間のつまつた中くらいの太さの枝**A**を選びます(図-3 **a**で切る)。**A**が弱い場合は、予備枝として2芽ほど残し、**B**のつるを結果母枝に利用します(図-3 **b**で切る)。

次に、残した結果母枝を「どのあたりで切るか」ですが、芽をどのくらい残したらよいかがポイントになります。剪定方法は、2～3芽を残して切る短梢剪定と、6芽以上を残して切る長梢剪定とその中間の中梢剪定があり、これらをバランスよく組み合わせて剪定します。

残す芽は、3.3m²(坪)あたり大粒種なら30芽くらい、小粒種なら40芽くらいが標準です。

枝の切り方は、髓が柔らかく弱いので乾燥と寒さから芽を守るために、芽の近くではなく、芽と芽の中間で切ります。

剪定後は、枝や芽を寒さから保護するため、棚から下ろし、地面に伏せ、雪の下にします。

◆冬ならではのおいしい野菜を楽しもう

じゃがいも・キャベツなどは、0°C近くの温度で貯蔵すると甘くなります。これは、寒さに耐えるために澱粉が糖に変わり、また、アミノ酸も増えるためです。

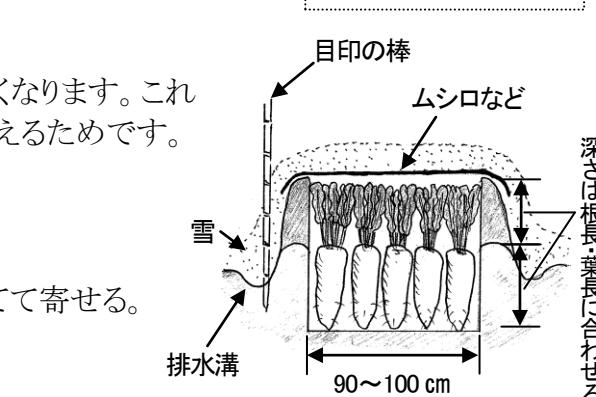
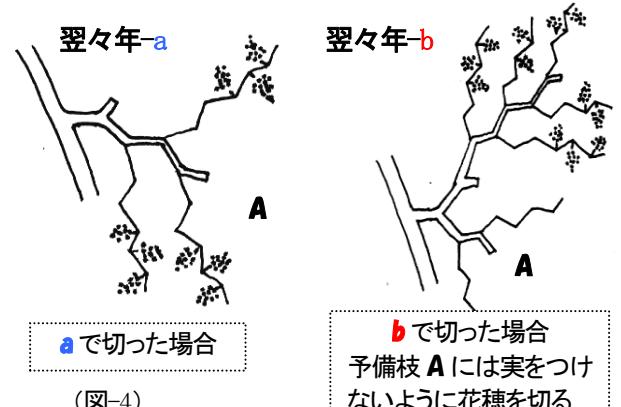
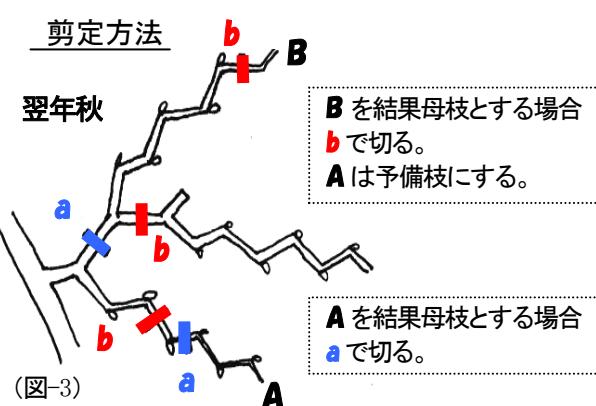
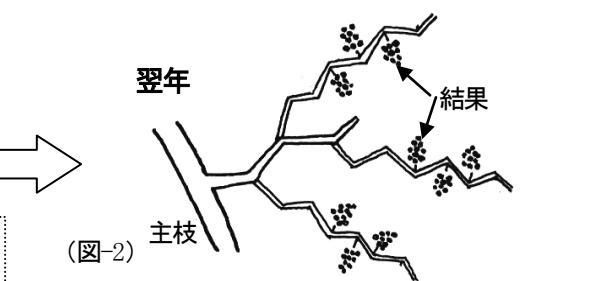
<屋外 貯蔵方法>

○だいこん・にんじん・じゃがいもなどの根菜類

- ①深さ30～50cm位の穴を掘る。
- ②だいこん、にんじんなどは洗わないで葉を付けたまま立てて寄せる。
じゃがいもも洗わないで穴に入れる。

緑の相談受付	10:00～12:00、13:00～16:00
☆豊平公園	811-9370 月曜以外毎日
☆百合が原公園	772-3511 木曜、日曜
☆平岡樹芸センター	883-2891 水曜、土曜

平岡樹芸センターの相談窓口は11月6日で、百合が原公園の緑の相談窓口は11月7日で本年の受付を終了いたしました。
多くのご利用、ありがとうございました。
豊平公園緑のセンターの相談窓口は冬期間も受付を行っておりま
す。お気軽にご利用ください。



③上にワラ、ムシロなどを被せ積雪を待つ。

④雪が遅く、強い冷え込みが続くときは上に土を10~30cm位被せる。

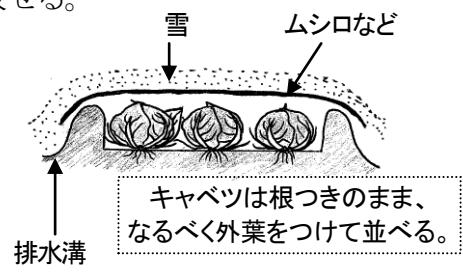
※早くから厚く被覆すると蒸れて傷むので注意しましょう。

○キャベツ

①キャベツは外葉・根を付けたまま引き抜く。

②根の部分だけ埋まる溝を掘りキャベツを並べる。

③ワラ、ムシロを被せ、積雪を待つ。キャベツは多少凍結しても雪の中で溶けるので問題ない。



○貯蔵のポイント

①根菜類は凍結させない。

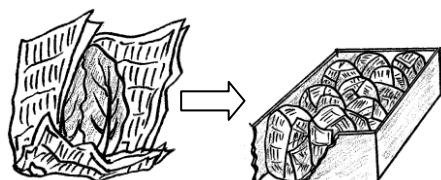
②被せる物が厚くなるときはワラ束を立て空気が通るようにする。

＜屋内 貯蔵方法＞

○じゃがいも:段ボール箱かポリ袋に入れ貯蔵する。(温度:2~5°C)

○だいこん・にんじん・ごぼう:土つきのまま、葉を1~2cm残し、

2~3日日陰で風乾したものを、段ボール箱か穴を開けたポリ袋で貯蔵する。(温度:0~2°C、湿度:90~95%)



○キャベツ・はくさい:8分結球程度のものを用い、外葉を3枚くらい

つけて収穫する。3~4日日陰で風乾してから1個ずつ新聞紙で包み、深めの容器にゆったりと立てて詰める。(温度:0~2°C、湿度:75~85%)

キャベツ・はくさいは1個づつ新聞で包んで、容器にゆったり立て詰めます。時々腐敗していないか、点検しましょう。

○ねぎ:収穫後傷んだ葉を取り除き、2~3日日陰で風乾する。枯葉をかきとり、

2~3本ずつ新聞紙で包み、深めの容器(ミニコンテナなど)に根を下にして詰める。(温度:0~5°C)

○たまねぎ:収穫後風通しの良い所で乾かしたもの段ボール箱(ネット袋でもよい)などで貯蔵する。(温度:0~5°C)

※冷暗所で貯蔵し、時々点検してください。腐敗したものは除くようにしましょう。

◆ Q & A ◆

Q

幸福の木やベンジャミンなど数種の観葉植物を室内のほとんど日の当たらない場所で育てています。ところが鉢土の表面にカビが生えてしまうのですが、これは植物に害がありますか。また、管理や適した置き場所などについても教えてください。
(北区 M様)

A

用土の表面にカビが生える状態は、カビ自体の害より用土の過湿が心配です。植物の病気の原因として土の中のカビが原因となることが少なくありませんが、鉢土の表面にあらわれてくるものは、それほど心配するものではありません。もし心配であれば、明るい半日陰や午前中に日が当たるような場所に置き、用土を乾かすとカビは出なくなります。

一般的な病気である灰色かび病の原因となるカビがありますが、これは枯れた葉や花弁などで繁殖しますので、枯れ葉やゴミなどを小まめに取り除きましょう。

幸福の木やベンジャミンなど多くの観葉植物はもともと熱帯産の植物で日光を好みますが、弱光線にも強く美しい葉を長く楽しめるので、室内植物としてよく栽培されています。

ドラセナの仲間は、丈夫で育てやすく7~8度以上あれば冬越しは比較的容易です。しかし、光線が極端に不足すると葉色が悪くなり、用土の過湿によって生育が阻害されやすくなります。また、真夏の高温期に強い直射日光に当てるとき、葉がやけたり、葉色が悪くなることがあるので注意が必要です。

置き場所:夏……強い日ざしを避け、明るい半日陰。

秋~春……できるだけ明るい室内で、できれば日当たりのよい窓辺など。

水やり:初夏~夏…用土の表面が乾いたら、たっぷりと与える。

秋~冬…徐々に水やり回数を減らす。

冬~春先…できるだけ用土を乾かしきみに管理。

肥料は、生育期に緩効性の化成肥料を置き肥として2~3ヶ月に1回程度、液肥は月に2~3回定期的に与えるようにし、冬は与えません。さらに、真夏の高温期や乾燥した室内に置くときは葉水をできるだけこまめに与えて空中湿度を保つように心がけます。

11月～12月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 お問合せ先 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
各種洋ランの冬の管理	11月18日(木)	13:30～	11/11(木)～	無料
シクラメン他冬の鉢花の室内管理	11月23日(火)	13:30～	〃	無料
正月用ミニ盆栽を作ろう	12月18日(土)	13:30～	〃	3,000円
展示会				
洋ラン展	11月16日(火)～11月21日(日)	北海道蘭友会	入場無料	
シクラメン展	11月23日(火)～11月28日(日)			
クリスマス展	11月30日(火)～12月25日(土)	豊平公園花とハーブの会		
ご自宅のコチョウランをお持ちいただいて植え替えの個別指導をいたします。		事前に予約が必要です。		
コチョウラン植え替えサービスディ	11月25日(木)	9:00～	11/11(木)～	材料費実費
クリスマスリース講習会 (開催日が変更になりました。)				
自然素材でリースを作ろう	12月5日(日)	10:00～	11/11(木)～	1,500円
クラフト教室				
アレンジ押し花講習会 「押し花で年賀状」	11月18日(木)	10:00～	11/11(木)～	1,500円
押し花アート体験会 「ブックカバー&しおり」	11月20日(土)	13:30～	〃	1,000円
あけび工房 「お正月飾り」	12月4日(土)	10:00～	〃	2,500円

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園 210 TEL 011-772-3511

<http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

展示会	日	料金
秋の植物展	9月28日(火)～11月7日(日)	大温室入館料130円
クリスマスディスプレイ	11月23日(水)～12月12日(日)	〃

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先	
小りす工房おとなの日 「クリスマスリース」	11月11・12日(木・金) 10:00～、13:30～	各回1,000円・要事前申込	西岡公園	582-0050
小りす工房こどもの日 「クリスマスリース」	11月21日(日) 13:00～	500円・要事前申込	西岡公園	〃
円山公園 リース作り講習会	11月19・20日(金・土) 26日(金) 各10:00～	各回1,200円・先着順	円山公園	621-0453
さけ科学館 サケの人工受精体験	11月6・20日(土) 13:00～、14:00～	各回無料	さけ科学館	582-7555

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目

平岡樹芸センターは、11月7日をもちまして本年の営業を終了いたします。本年もたくさんのご来園ありがとうございました。
閉園後は冬用いなどの作業・手入れを行い、来年に備えます。来年は4月下旬からオープン予定となっております。